

落語家などが呼びかけ

安全安心のつどい開催

10月18日、高井戸地域区民センターでは、区内警察署など関係機関や地域団体のメンバーなど450名ほどが参加し、区内の防犯力を高めることを目指した「杉並区民地域安全のつどい」が開催されました。つどいには、お笑い芸人や落語家なども登場し、笑いを交えながら、振り込め詐欺や空き巣などの被害に遭わないよう注意喚起を行いました。

10月11日から20日までの10日間で、全国地域安全運動が実施されています。この運動は、それぞれの地区の防犯協会や関係機関が連携して、犯罪や事故のない安全で住みよいまちをつくることを目的に実施されています。

杉並区では、安全パトロールの実施や防犯カメラの設置促進を通じて、安全・安心なまちづくりに取り組んできました。また、地域の防犯自主団体や大学生のボランティアなどと連携した落書き消しや地域のパトロールなど、様々な手段・機会を設けて、地域の防犯力を高める試みを重ねてきました。その結果、杉並区内の28年1月から6月までの刑法犯は、2,616件で前年同期比では610件の大幅な減少を示しています。しかし、一方で振り込め詐欺被害は、依然として多くの被害が報告されています。



18日午後2時から開催された地域安全のつどいには、地域住民など450人ほどが参加。参加者の多くは、日頃、地域で防犯活動や町会活動に従事しているメンバーです。普段は、近隣住民を犯罪から守る運動に携わっている立場ですが、振り込め詐欺の手口は巧妙で、いつ被害者になっても不思議ではありません。つどいでは、女優のこばやしあきこさん、落語家の立川平林さん、お笑い芸人・二丁拳銃のメンバーの小堀裕之さんが登場し、振り込め詐欺集団の手口の紹介や空き巣・振り込め詐欺の被害に遭わないよう注意喚起を行いました。また、警察からは、振り込め詐欺の被害に遭わない近道は、詐欺集団との接触を断つことで被害を防止する自動通話録音機の使用も推奨しました。



【問い合わせ先】

危機管理室地域安全担当：03-3312-2111 内線 1582